

市之川公民館だより

平成 28 年 12 月号
(No.516 号)
発行；市之川公民館
西条市市之川 6678-1
Tel&Fax； 56-3300

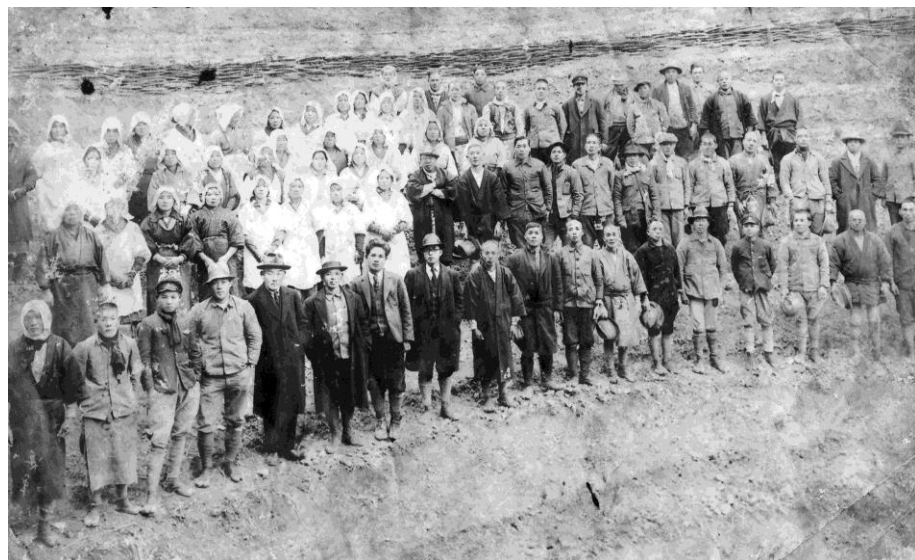
12月 師走（しわす）

今年も残り一ヶ月となり、朝夕、すっかり寒くなつてまいりました。
皆様、お元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。
お風邪などひかれませぬよう、どうか、皆様お元気でお過ごしください。

《12月の行事予定》

日	曜	行事・時刻・場所
10	土	カラオケ会 10:00～ 集会室
23	金	祝 天皇誕生日
24	土	カラオケ会 10:00～ 集会室

※ 新しく見つかった写真 情報をおよせください。



※ 視察研修 祖谷方面へ 10月25日(火)



※ 女性学級 11月3日(木)



※ ケーブルテレビで

12月の一ヶ月間、ケーブルテレビで最低一日一回、「キャッチボール西条」という30分番組で、市之川鉦山や輝安鉦について放送されます。

視聴できる方は、ぜひご覧ください。

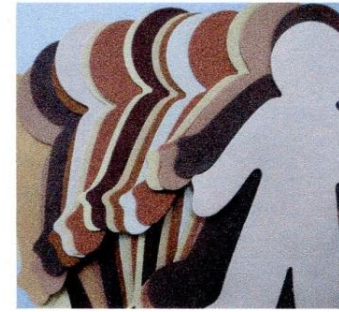


文芸欄

- 野も山も 赤く染まりし 足軽く
 - 野は染まり 爺は背を曲げ 散歩道
 - 甘柿の 袋かけての 百個なり
 - 黒松の 斜幹もきれい 五十年
 - 日暮れ時 爺もワンコも 婆を待つ
 - 食器音 ワンコも爺も 目をさます
 - スイコキの ゴマ味噌あえで 酒のあて
 - 秋ヒナを 入れてその日に 卵産み
 - 雨風も 四国九州 通り道
 - 秋風の 早く陽も落ち すすきゆれ
 - 稲も刈り 実りの秋の 年の暮れ
 - 山越えて どこまで続く うろこ雲
 - 黄葉が 散り散り散りて 市之川
 - 遠くより 友の来たりし 秋の夕暮れ
- 館長 館長 館長 知 知 知 正 正 正 正 正 正 正



肌色



「肌色」の指導で使用されている教具
(アメリカ合衆国の学校にて)

ある小学校の教室での会話です。
Aさんは、保護者の仕事の関係で小さい頃から海外で生活をしていましたが、日本に帰国し、日本の小学校に入学しました。

B: Aさん肌色、貸して?
A: 肌色って?
B: 肌色よ! 人の肌の色。
A: いろいろあると思うけれど。



幼い頃、使っていたクレヨンや色鉛筆。人を描いて色を塗る時、たしか「肌色」ではなかったでしょうか。しかし、かつてあった「肌色」は姿を消してしまいました。というよりも、呼び方が変わりました。

肌色 ⇒ 「パールオレンジ」や「うすだいだい色」など

日本絵具クレヨン工業組合によりますと、2000年前後に文具メーカーは名称変更を踏み切ったそうです。



パールオレンジのクレヨン

ある文具メーカーの担当者は、「学校の先生方から、『肌色』を使っていた教育がしづらなくなったという声があがってきました。日本には、いろいろな国から多くの方が来られていて、学校の中にもそのお子様がいらっしゃいます。日本で教育を受ける外国の子どもが自分の肌と違うと感じるのは好ましくないと考えました。」と話していました。

日本にも外国にもいろいろな民族や人が住んでおり、いろいろな肌の色をした人が生活しています。日本では、大多数を占める人の肌の色から「肌色」という呼称が生まれてきたのですが、マジョリティ(大多数)の人のみの価値観でものごとを決めるのではなく、マイノリティ(少数派)の存在も大切にされなければならないと思います。そして、お互いの「ちがいを認め合うことができれば、誰もが住みやすいと感じることのできる社会になるのではないのでしょうか。

誰もが生きやすい社会とは・・・
お互いの違いを認め合うことのできる社会
マイノリティの存在こそ大切にされる社会